豊田工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	電気技術英語Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	75341		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電気・電子システム工学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	「Oxford Bookworms Factfiles」「Oxford Fact Files」(Oxford University Press)「National Geo Graphics World Windows」(Cengage Learning)、「Who is Fourier?」(Language Research Foundation)他、「めざせ100万語! 読書記録手帳」, SSS英語学習法研究会, SEG出版				
担当教員	大野 亘				
到達目標					
(ア)日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。(g) (イ)基本語1000~1200語水準 (YL3.2; PGR3, OBW3相当)の英文を、連続して60分以上読み続けることができる。(f) (ウ)基本語1000~1200語水準 (YL3.2; PGR3, OBW3相当)の英文を毎分100語以上で読み、概要を把握することができる。(f) (エ)授業時間内外の多読活動を通じて、のべ10万語以上の英文を読む。(g) (オ)TOEIC430点相当以上の英語コミュニケーション能力を有する。(f)					
ループリック					
	最低限の到達レベルの目安(優)		最低限の到達レベルの目安(可)		最低限の到達レベルの目安(不可)
評価項目(イ)	基本語1000~1200語水準 (YL3.2; PGR3, OBW3相当)の英文を毎分100語以上で連続して60分以上正確に読み続けられる。		基本語1000~1200語水準 (YL3.2; PGR3, OBW3相当)の英文を断続的に60分以上読み続けられる。		基本語1000~1200語水準 (YL3.2; PGR3, OBW3相当)の英文を断続的に60分以上読み続けられない。
評価項目(ウ)	基本語1000~1200語水準 (YL3.2; PGR3, OBW3相当)の英文をで読み、内容を詳細に把握できる。		基本語1000~1200語水準 (YL3.2; PGR3, OBW3相当)の英文を毎分100語以上で断続的に読み、概要を正確に把握することができる。		基本語1000~1200語水準 (YL3.2; PGR3, OBW3相当)の英文を毎分100語以上で断続的に読み、概要を正確に把握することができない。
評価項目(エ)	授業時間内外の多読活動を通じて、のべ30万語以上の英文を読む。		授業時間内外の多読活動を通じて、のべ10万語以上の英文を読む。		授業時間内外の多読活動を通じてのべ10万語以上の英文を読めない。
評価項目(オ)	TOEIC530点相当以上の英語コミュニケーション能力を有する。		TOEIC430点相当以上の英語コミュニケーション能力を有する。		TOEIC430点相当以上の英語コミュニケーション能力を有しない。
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 D-4 基本語彙からなる英文を、日本語を介することなく読み、大意を把握できる。 学習・教育到達度目標 D-5 自律的、継続的な学習により、TOEIC450点相当以上の英語運用能力を身につけている。 JABEE f 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力 JABEE g 自主的、継続的に学習する能力 本校教育目標 ④ コミュニケーション能力					
教育方法等					
概要	文献調査から製品の説明まで、国内外での活動が期待される技術者にとり、英語を用いたコミュニケーション・スキルの習得は不可欠である。この科目は英語関連科目および専門基礎科目で学んできた英語に関する知識・スキルの定着のため、リーディングの訓練を行う。リーディングは、日本語を介さずに易しい英文を大量に読む多読演習を1年かけて行う。多読の方法に慣れ、各自の実力に合ったレベルや分野の教材を見つけ、自立的に読み続けることを目指す。				
授業の進め方・方法	図書館において、蔵書されている英文多読用図書から、自らの英語能力に適切なレベルのものを自ら選び、黙読する。また、図書の朗読CDを用いて英文を聞き取る。さらに、本授業を学生同士の共同の学びの場とし、課外学習として英文多読図書を借りて授業外でも自律的に読むことで、自立的な学習者になることを目指す。				
注意点	課題評価は読書記録(10%、本年3月~翌年2月の累積)とTOEIC(20%、本年3月以降のTOEICで430点を60%、550点以上を100%、530点を85%、380点未満を0%と評価)により行う。				
選択必修の種別・旧カリ科目名					
規制技術に含まれるものはない					
授業の属性・履修上の区分					
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応	
☐ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	日本語を介さずに英文を理解するための読解法の解説		日本語を介さずに英文を理解するための読解法の解説を理解できる。
		2週	リーディング教材を用いた多読演習		リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
		3週	リーディング教材を用いた多読演習		リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
		4週	リーディング教材を用いた多読演習		リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
		5週	リーディング教材を用いた多読演習		リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
		6週	リーディング教材を用いた多読演習		リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
		7週	リーディング教材を用いた多読演習		リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
		8週	リーディング教材を用いた多読演習		リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
	2ndQ	9週	リーディング教材を用いた多読演習		リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。

後期		10週	リーディング教材を用いた多読演習	リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
		11週	リーディング教材を用いた多読演習	リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
		12週	リーディング教材を用いた多読演習	リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
		13週	リーディング教材を用いた多読演習	リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
		14週	リーディング教材を用いた多読演習	リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
		15週	リスニング教材を用いたディクテーション演習	リスニング教材を用いた英文書き取りをする。
	16週			
	3rdQ	1週	リーディング教材を用いた多読演習	リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
		2週	リーディング教材を用いた多読演習	リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
		3週	リーディング教材を用いた多読演習	リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
		4週	リーディング教材を用いた多読演習	リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
		5週	リーディング教材を用いた多読演習	リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
		6週	リーディング教材を用いた多読演習	リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
		7週	リーディング教材を用いた多読演習	リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
		8週	リーディング教材を用いた多読演習	リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
		4thQ	9週	リーディング教材を用いた多読演習
10週			リーディング教材を用いた多読演習	リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
11週			リーディング教材を用いた多読演習	リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
12週			リーディング教材を用いた多読演習	リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
13週			リーディング教材を用いた多読演習	リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
14週			リーディング教材を用いた多読演習	リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。
15週	リーディング教材を用いた多読演習		リーディング教材を用いた英文を連続して45分程度読み、概要を把握できる。	
16週				

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
		英語運用能力向上のための学習	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	4		
		英語運用能力向上のための学習	母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3		
	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
			グローバルゼーション・異文化多文化理解	関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	4	
			グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	
			グローバルゼーション・異文化多文化理解	様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	
グローバルゼーション・異文化多文化理解	異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3				

評価割合

	定期試験	課題	合計
総合評価割合	70	30	100
専門的能力	70	30	100